



# 春の火災予防運動週間

## 3月1日(火)～7日(月)



※ 火災予防運動週間中、午後8時に30秒間サイレンが鳴ります。

冬から春へ季節が移り変わるこの時季は、空気が非常に乾燥して火災が発生しやすく、また、強い季節風により火災が広がりやすくなります。そのため、火災予防意識の高揚と火災発生を未然に防止することにより、火災による死傷者の減少、財産損失の防止を目的として、毎年この時季に火災予防運動週間を実施しています。

### ■火災の概要

平成27年中の知多中部管内（半田市、阿久比町、武豊町、東浦町）では、68件の火災が発生しました。火災による負傷者は10人、死者は1人です。

### ■火災の種別

建物火災38件、車両火災4件、林野火災0件、その他火災26件、合計68件となっています。前年と比べると建物火災5件増、車両火災3件減、林野火災増減無、その他火災17件減となっており、合計で15件減少しています。

前年に比べて出火件数は減少しましたが、まだまだ空気の乾燥する日が続きます。火気の取り扱いには十分注意しましょう。また、寝たばこやたばこのポイ捨ては絶対にやめましょう。灰皿には水を入れ、吸い殻をこまめに処分しましょう。

### ■出火原因の1位は放火です

平成27年中の出火原因の1位は「放火（疑いを含む）」で17件、続いて「たばこ」で7件、「こんろ」で6件と続きます。

放火は、「放火されない」「放火させない」ことが大切です。次のことに気をつけて放火されない環境を作りましょう。

▽家の周囲を明るくする。（特に夜間、建物の周囲や駐車場は、センサーライトなどを点灯する。）

▽家の周囲に不要な可燃物を置かない。

▽物置や空き家には鍵を掛ける。

▽ごみは収集日時などルールを守って出す。

▽車やバイクなどのカバーは燃えにくい素材のものを使用する。

▽隣近所など地域で声を掛け合う。

### ■住宅用火災警報器の点検をしましょう

住宅用火災警報器は、火災を早期に発見し、火災による被害を少なくすることができますが、警報器

が正常に作動するには、日頃の維持管理が大切です。（特に電池切れに注意しましょう。）

▽定期的に点検ボタンまたは点検ひもで作動確認をしましょう。

▽「ピッピッ」と短い音が鳴ったら電池切れのサインです。電池を交換するか、機器ごと交換してください。

▽機器によって電池寿命が違います。注意してください。

### ■住宅用火災警報器の取り付けを支援します

住宅用火災警報器を購入してあるのに、まだ取り付けていない世帯で、次の条件に全て該当する場合、消防職員を派遣し、住宅用火災警報器の取り付けを行います。（取り付け料金は無料です。）

①購入したものを自分で取り付けることができない方

②親戚や近隣者などによる取り付け協力が得られない方

③半田市、阿久比町、武豊町、東浦町に在住の方

④平日の午前9時～午後4時の間に取り付けに立ち会える方

※ 電池式の住宅用火災警報器に限ります。

### ■問い合わせ先

知多中部広域事務組合消防本部予防課

☎(21)1491

平成27年度  
防火作品展

愛知県知事賞(特選)  
草木小学校6年  
竹内 良太さん



平成27年度 全国統一防火標語

「無防備な 心に火災が かくれんぼ」